

ニッセイ インターネットアンケート ～11月:「年金の日」に関する調査結果について～

日本生命保険相互会社（社長：筒井義信）は、「ずっともっとサービス」のサンクスマイルメニューのひとつとして、ホームページ（<http://www.nissay.co.jp>）内の「ご契約者さま専用サービス」にて、「年金の日」に関するアンケート調査を実施いたしました。

来月は「健康」に関するアンケート調査結果を発表いたしますので、ご期待ください。

《調査概要》

- 調査期間：平成27年10月1日（木）～10月18日（日）
- 実施方法：インターネット（PC・携帯電話モバイルサイト）による回答
- 調査対象：「ずっともっとサービス」のサンクスマイルメニューアンケートへの訪問者
- 回答者数：10,442名（男性：5,754名、女性：4,688名）

<年代別回答者数>

(名, %)

年代	～20代	30代	40代	50代	60代	70代～	合計
男性	323	875	1,809	1,617	858	272	5,754
女性	381	846	1,345	1,239	640	237	4,688
合計	704	1,721	3,154	2,856	1,498	509	10,442
占率	6.7	16.5	30.2	27.4	14.3	4.9	100.0

【質問1】11月30日は厚生労働省が制定した「年金の日」だをご存じですか？
あなたは、毎年届く「ねんきん定期便」を確認していますか？

【質問2】老後に公的年金を毎月どのくらい受け取れると思いますか？

【質問3】老後の資金として、公的年金以外にご自身で準備を進めていますか？

【質問4】準備を進めていない理由は何ですか？

【質問5】主にどのような方法で準備を進めていますか？

【質問6】個人型確定拠出年金の対象が拡大される見通しですが、活用しようと思いますか？

【質問7】現在、個人年金（保険・共済・信託等）に加入していますか？
今後、加入しようと思いますか？

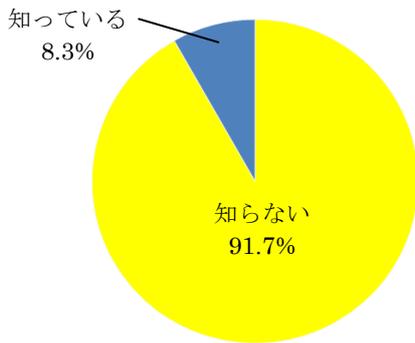
**【質問1】 11月30日は厚生労働省が制定した「年金の日」だとご存じですか？
あなたは、毎年届く「ねんきん定期便」を確認していますか？**

(回答者数：10,442名)

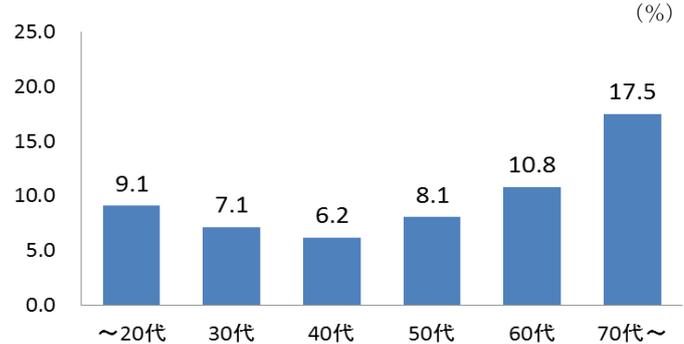
- 「知っている」と回答した方は、8.3%。約9割は「知らない」と回答。
- 毎年の「ねんきん定期便」を確認している方は約7割。年代別では、40～60代で7割を超える結果となった。

■ 「年金の日」を知っているか

<全年代>

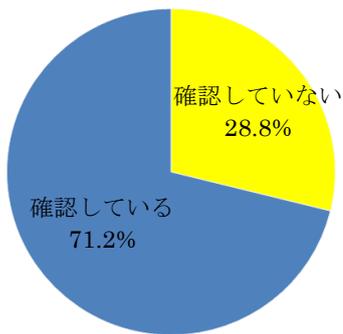


<年代別> 「知っている」と回答した方の占率

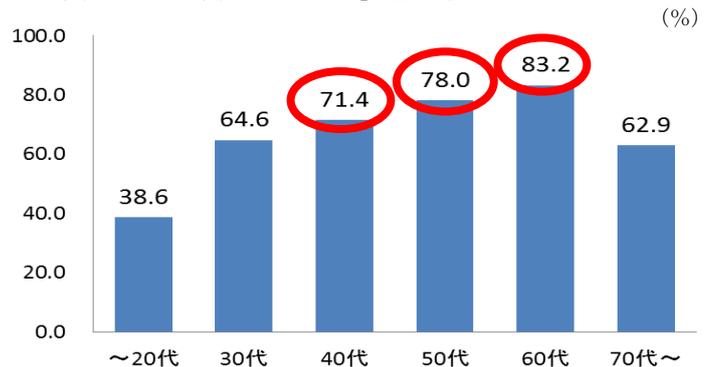


■ 「ねんきん定期便」を確認しているか

<全年代>



<年代別> 「確認している」と回答した方の占率



<ニッセイ基礎研究所 中嶋邦夫 主任研究員のコメント>



○「年金の日」は、「国民お一人お一人に、『ねんきんネット』等を活用しながら、高齢期の生活設計に思いを巡らしていただく日」として、昨年、11月30日(いいみらい)に設定されました。また11月は「ねんきん月間」として、年金事務所職員による出張相談、賛同団体による周知活動やイベントなどが行われています。

○「年金の日」をご存じの方の割合は、40代以下で昨年より少し上がっていますが、全体として低い水準にとどまっています。その一方で、毎年の誕生日に郵送される「ねんきん定期便」を確認している方の割合は7割を超えていて、ご自身の年金記録や年金見込額への高い関心がうかがわれます。

○「ねんきん定期便」の提供は年1回で、年金見込額の計算方法が所定の1通りに限定されていますが、「ねんきんネット」はいつでも使えて、今後の収入などを自由に設定して試算できます。せっかくですので、ぜひ一度使ってみてください。

<「ねんきんネット」のリーフレット | 厚生労働省ホームページ>

(出典)厚生労働省ホームページ

<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-12500000-Nenkinkyoku/a3.pdf>



**【質問2】 老後に公的年金を毎月どのくらい受け取れると思いますか？
(結婚されている場合は夫婦の合計をお答えください)**

- 夫婦の場合は10～30万円、単身の場合は5～15万円と回答した割合が高い。
- 年代別では、年齢が高くなると、より高額（夫婦は30万円以上、単身は15万円以上）の回答が増える傾向が見られた。

■夫婦の場合（回答者数：6,535名）

年代	～20代	30代	40代	50代	60代	70代～	(%) 全年代
10万円未満	18.4	19.5	16.2	12.0	9.8	16.2	14.5
10万円以上 20万円未満	37.4	43.8	37.1	30.8	24.6	22.3	33.6
20万円以上 30万円未満	32.5	26.5	34.6	40.7	43.6	30.6	36.4
30万円以上 40万円未満	7.3	6.3	7.8	10.1	12.9	18.0	9.5
40万円以上	4.4	3.9	4.3	6.4	9.1	12.9	6.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

48.1%

《ご参考》 ゆとりある老後生活に必要なと思う1カ月あたりの生活費

(平成27年8月「敬老の日と老後・相続」に関するアンケートデータより)

年代	全年代
20万円未満	5.1
20万円以上 25万円未満	16.0
25万円以上 30万円未満	12.1
30万円以上 35万円未満	30.8
35万円以上	36.0
合計	100.0

94.9%

<POINT>

夫婦の場合、約5割の方が老後にもらえると思う金額は「20万円未満」と回答する一方、9割以上の方が、ゆとりある老後生活には「20万円以上」が必要と考えている。

■単身の場合（回答者数：2,349名）

年代	～20代	30代	40代	50代	60代	70代～	(%) 全年代
5万円未満	14.2	12.4	8.6	6.0	4.8	4.9	9.2
5万円以上 10万円未満	31.2	32.9	33.8	28.5	27.3	22.0	31.2
10万円以上 15万円未満	26.9	30.1	29.7	37.8	30.6	29.3	31.3
15万円以上 20万円未満	15.6	14.3	14.3	15.0	24.4	17.1	15.6
20万円以上 30万円未満	7.8	6.4	9.3	7.7	7.2	17.1	8.0
30万円以上	4.3	3.8	4.4	5.1	5.7	9.8	4.6
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

71.7%

《ご参考》 ゆとりある老後生活に必要な1カ月あたりの生活費

(平成27年8月「敬老の日と老後・相続」に関するアンケートデータより)

年代	全年代
15万円未満	9.7
15万円以上 20万円未満	22.1
20万円以上 25万円未満	32.9
25万円以上 30万円未満	8.7
30万円以上 35万円未満	8.9
35万円以上	17.7
合計	100.0

90.3%

<POINT>

単身の場合、約7割の方が老後にもらえると思う金額は「15万円未満」と回答する一方、9割以上の方が、ゆとりある老後生活には「15万円以上」が必要と考えている。

<ニッセイ基礎研究所 中嶋邦夫 主任研究員のコメント>

○若い世代ほど、金額が少ない傾向が見られます。これは、今年度からスタートした給付削減の仕組み(マクロ経済スライド)によって実質的な年金額が段々と目減りしていくことや、将来の公的年金への漠然とした不安を反映している可能性があります。

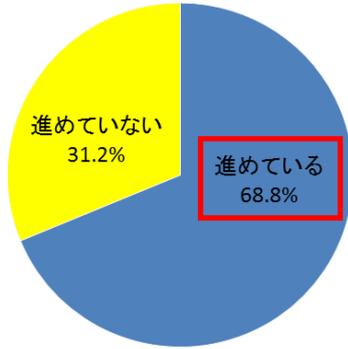
○8月にお伺いした「ゆとりある老後の生活費」では、夫婦で20万円未満や単身で15万円未満の割合が1割未満でした。しかし、今回お伺いした公的年金の受給見込みでは、これらの割合が非常に高くなっています。公的年金だけではゆとりある老後を送れない、とお考えの方が多くいます。

【質問3】 老後の資金として、公的年金以外にご自身で準備を進めていますか？

(回答者数：10,442名)

- 「進めている」と回答した方は、全体の約7割を占める。
- 年代別では、50代が最も高く(73.2%)、続いて60代(71.2%)が高い結果となったが、全体的に準備を進めていると回答した占率は高い。
- 男女別でも、同様の傾向となった。

<全年代>



<年代別>

(%)

年代	~20代	30代	40代	50代	60代	70代~
進めている	62.2	65.4	69.4	73.2	71.2	52.8
進めていない	37.8	34.6	30.6	26.8	28.8	47.2
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

<男女別>

(%)

	男性	女性
進めている	69.4	67.9
進めていない	30.6	32.1
合計	100.0	100.0

【質問4】 準備を進めていない理由は何ですか？

(質問3で「進めていない」と回答した方への質問)

(回答者数：3,424名)

- 「準備を進めたいが、金銭的な余裕がないから」と回答した方は、全体の約5割を占める。
- 「金銭的な余裕がない」に続く理由としては、年代別では、20代以下と30代では「老後まで、まだ時間があるから」、40~50代では「準備を進めたいが、どうしたらよいか分からない」だった。

<年代別>

(%)

年代	~20代	30代	40代	50代	60代	70代~	全年代
公的年金だけで十分だと思うから	5.8	4.0	2.7	3.5	5.8	14.5	4.6
退職金や会社からの年金もあるので十分だと思うから	3.6	4.3	3.2	5.5	9.2	8.8	5.2
年を取っても働いて収入を得るので十分だと思うから	1.8	2.7	4.0	7.7	9.0	7.2	5.3
準備を進めたいが、どうしたらよいか分からないから	12.4	13.2	15.1	14.3	12.1	6.0	13.3
準備を進めたいが、金銭的な余裕がないから	35.4	52.5	53.2	52.6	43.9	26.9	48.4
老後まで、まだ時間があるから	32.5	16.2	12.4	6.7	2.9	2.0	11.3
その他	8.4	7.1	9.5	9.7	17.0	34.5	11.8
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

【質問5】主にどのような方法で準備を進めていますか？

(質問3で「進めている」と回答した方への質問)

(回答者数：7,544名)

- 「個人年金保険」と回答した方は、全体の過半数を占める。(52.6%)
- 年代別では、50代以下では「個人年金保険」が最も占率が高い一方、60代以上になると「預貯金」が最も高くなる結果となった。

<年代別>

(%)

年代	～20代	30代	40代	50代	60代	70代～	全年代
預貯金	16.2	18.6	23.1	30.1	38.2	44.5	27.1
株式・有価証券・投資信託	2.5	4.5	6.1	7.6	11.9	14.3	7.3
資産形成型の生命保険	4.4	4.5	4.2	4.5	5.5	10.7	4.8
個人年金保険	71.8	64.8	58.1	49.4	36.3	16.9	52.6
個人型確定拠出年金(日本版401k)	1.1	4.5	5.4	5.0	2.8	1.6	4.3
その他	4.0	3.2	3.1	3.4	5.2	12.0	3.9
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

【質問6】個人型確定拠出年金の対象が拡大される見通しですが、活用しようと思いませんか？

(会社員・主婦(主夫)・公務員の方への質問)

(回答者数：7,088名)

- 約4割の方が「どちらとも言えない」と回答。
- 職業別では、会社員が「(大いに)活用したい」と回答した占率が最も高い結果となった。専業主婦(主夫)は25.4%の方が「存在自体を知らない」と回答した。

(%)

	会社員	専業主婦 (主夫)	公務員	合計
大いに活用したい	11.1	5.4	8.8	10.0
活用したい	19.7	14.7	17.2	18.7
どちらとも言えない	41.5	37.8	40.4	40.8
活用したいと思わない	12.6	16.7	12.8	13.3
存在自体を知らない	15.0	25.4	20.8	17.3
合計	100.0	100.0	100.0	100.0

<ニッセイ基礎研究所 中嶋邦夫 主任研究員のコメント>

- 公的年金以外にご自身で老後の準備を進めている方が、すでに多数おられます。
- その一方で、30～50代で準備を進めていない方の6割以上が、「金銭的な余裕がない」「どうしたらよいか分からない」ために「準備を進めたいが、準備を進めていない」という状況のようです。公的年金の削減が進んでいきますので、このような方々への対応は今後の政策的な議論になりそうです。
- すでに準備をされている方では、個人年金保険の利用が多くなっています。若いうちは老後準備以外の支出が多く、老後まで時間があると思って準備されていない方もおられますが、老後が近づくと毎年の積立に必要な金額が大きくなります。個人年金保険や、対象の拡大が見込まれる個人型確定拠出年金などを利用して、少しずつでも早めに準備を進めることが老後準備のポイントでしょう。

**【質問7】現在、個人年金（保険・共済・信託等）に加入していますか？
今後、加入しようと思いませんか？**

(回答者数：10,442名)

- すでに個人年金に加入している方では、50代以下の10%以上が「さらに加入すると思う」と回答。
- 30代以下の若い世代でも、5割以上が毎月1万円以上の個人年金の支払いをしていると回答した。
- 現在加入していない方の約7割が、「今後も加入しようと思わない」と回答。年代別では、30代以下の5割以上は「これから加入すると思う」と回答した。

■現在、個人年金（保険・共済・信託等）に加入していますか？

<全年代>



■今後、加入しようと思いませんか？

<年代別>

(%)

年代		~20代	30代	40代	50代	60代	70代~	全年代
加入している	さらに加入すると思う	16.7	19.8	14.8	11.6	7.4	22.9	14.1
	もう加入しないと思う	83.3	80.2	85.2	88.4	92.6	77.1	85.9
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
加入していない	これから加入すると思う	58.1	53.5	42.6	28.6	6.0	3.2	31.9
	今後も加入しようと思わない	41.9	46.5	57.4	71.4	94.0	96.8	68.1
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

《ご参考》ご加入の個人年金の毎月の支払い額（掛金等）はどのくらいですか？

(個人年金に加入している方への質問)

(回答者数：6,335名)

(%)

年代	~20代	30代	40代	50代	60代	70代~	全年代
1万円未満	28.4	24.0	32.9	25.9	19.9	27.6	27.4
1~2万円未満	58.5	55.9	45.1	40.2	34.4	17.2	44.7
2~3万円未満	9.2	12.7	12.8	15.8	16.3	21.6	14.0
3~4万円未満	2.0	2.8	3.4	5.4	9.3	8.2	4.5
4~5万円未満	0.7	1.7	1.9	4.0	5.2	6.7	2.9
5万円以上	1.3	2.8	3.8	8.7	14.9	18.7	6.5
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
平均額	1.42万	1.61万	1.58万	1.97万	2.40万	2.55万	1.80万

(注)「平均額」は、各選択肢の中央値(ただし5万円以上は5.5万円)を用いて計算したものです。

<ニッセイ基礎研究所 中嶋邦夫 主任研究員のコメント>

- 50代以下では、すでに個人年金に加入している方の10%以上が「さらに加入すると思う」と回答したり、現在は加入していない方の30%以上が「これから加入すると思う」と回答しています。この結果、毎月の支払い額(掛金等)は、年齢が高くなるにつれて上昇する傾向が見られます。
- 若い方は教育費や住宅ローンの返済費などがかかるため、老後の準備に回せるお金は限られます。しかし、年齢が上がって準備可能期間が短くなると、毎月の支払額を大きくしないと準備が間に合わなくなります。税の優遇措置等を活用して、少しずつでも、早めに準備を始めるのが良いでしょう。

以上